

報道関係者各位

プレスリリース

2025 年 11 月吉日

特定非営利活動法人 相馬救援隊

代表理事 相馬 行胤（そうま・みちたね）

相馬野馬追継承事業『馬と将門公 vol.2』を 12 月 10 日に開催

— 千年続く「相馬野馬追」を次の千年へ。江戸総鎮守・神田明神から、
報徳仕法を Z 世代とともに未来を考える一夜 —

特定非営利活動法人相馬救援隊（代表理事：相馬行胤、所在地：福島県南相馬市）
は、2025 年 12 月 10 日（水）に、相馬野馬追継承事業『馬と将門公 vol.2』を
東京・神田明神文化交流館 EDOCCO（東京都千代田区）にて開催いたします。

本企画は、始祖・平将門公以来およそ千年にわたり続いてきた「相馬野馬追」という
行事を、単なる観光コンテンツとしてではなく、その歴史的・精神的背景とともに深
く知っていただき、「さらに千年先へと受け継いでいくために、今なにができるか」を
共に考える場として実施するものです。

当日は、江戸後期の農政・地域再生モデルとして知られる「報徳仕法」に光を当て、
作家の北康利氏・永井紗耶子氏をお招きして、先人の知恵を現代社会にどう活かすか
を、楽しく、わかりやすく語り合うトークセッションを行います。

また、会場での参加に加えオンライン配信も予定し、福島県相双地域と
江戸・鎌倉・下総など、将門公ゆかりの地域との交流人口の拡大を目指します。

開催の背景 — 「千年続いた祭りを、千年後にも残す」ために

相馬地方で受け継がれてきた「相馬野馬追」は、平将門公を祖とする相馬家の歴史と、馬と共に生きてきた人々の暮らしを映す祭礼です。

震災や人口減少、暮らし方の変化など、地域を取り巻く環境は大きく変わりましたが、「馬と生きる文化」を次の世代、そのまた先の世代へと受け継いでいくことは、いまを生きる私たちに託された責任でもあります。

そうした思いから、われわれ相馬救援隊は「始祖・将門公から千年続いてきた行事を、千年後にも伝えるために、今できることのひとつ」として、本企画『馬と将門公』シリーズを立ち上げました。今回はその第2回として、野馬追の精神的な根底とも響き合う「報徳仕法」をテーマに据えます。

会場は江戸総鎮守・神田明神 — 相双地域と首都圏の“縁”をつなぐ

開催場所は、江戸の総鎮守として崇敬を集める神田明神文化交流館 EDOCCO。

将門公とも縁の深い神田の地から、氏子地域をはじめ、江戸神田日本橋・鎌倉・下総などゆかりのエリア、さらにはオンライン中継を通じて全国・海外の方々にもご参加いただける場とします。

福島県の相双地域と首都圏、そして将門公ゆかりの各地を「馬」「将門公」「仕法」というキーワードでゆるやかに結び直し、交流人口・関係人口の拡大を図ることも本事業の大きな目的です。

vol.2 の主題は「報徳仕法」 — 先人の知恵を、いまの地域づくりへ

第2回となる今回は、江戸後期に二宮尊徳が各地で実践した「報徳仕法」を取り上げます。とりわけ相馬地方では、江戸期の相馬藩主・相馬充胤公が藩政全体に報徳仕法を導入しました。その結果、相馬藩は、尊徳の思想がもっとも色濃く体现された実践地の一つとされており、「相馬野馬追」が育まれてきた土地の精神風土とも深く響き合っています。

報徳仕法は、貧困や荒廃に苦しむ村々を再生させた実践的な地域づくりの知恵で、「足るを知り、分かち合い、地域全体の幸福を高めていく」という思想は、人口減少や気候変動など、現代の課題と向き合う私たちにとっても大きな示唆を与えてくれます。

本イベントでは、この報徳仕法が、相馬・相双地域の歴史とどのように関わってきたのか、そして、これからの地域再生・文化継承にどう活かせるのかを、専門的な解説だけでなく、物語性豊かなトークとしてお届けします。

人気作家お二人によるトーク ― 歴史と物語から「生きた知恵」を引き出す

プログラムの中心となるのは、作家のお二人によるトークセッションです。

- ・ 北 康利 氏（ノンフィクション作家）

歴史上の人物や企業家の評伝を多数執筆し、近代日本の歩みを立体的に描いてこられました。報徳思想や地域再生をめぐる歴史的文脈を、わかりやすく紐解いていただきます。

- ・ 永井 紗耶子 氏（小説家）

歴史と人間ドラマを繊細に描く作品で高い評価を得ている小説家です。

物語の力を通じて、「報徳」や「野馬追」の世界を、現代を生きる私たちの感覚に近い言葉で立ち上がらせていただきます。

歴史・民俗学の専門的なお話と、小説家ならではの想像力が交差することで、「千年続いてきた祭りの背景にある、人々の生き方・祈り・知恵」を、臨場感をもって感じていただける内容を目指します。

Z世代とともにつくる継承プロジェクト — COERU・Yappe との協働

本企画の運営には、次世代を担う学生たちも参画します。

- ブランドの海外展開と留学生支援の2領域で活動する慶應生チーム COERU

<https://coeru.co>

- デジタルハリウッド大学の現役学生が起業した Yappe 株式会社

<https://yappe-inc.jp/>

という2つの若いチームが、広報・当日運営・オンライン配信などをサポートします。相馬野馬追という千年の行事と、報徳仕法という江戸後期の実践知。そこに、Z世代ならではの感性とデジタル技術が加わることで、世代を超えた「学びと継承の場」を共創していくことも、今回の大きなチャレンジです。

開催概要

- タイトル：相馬野馬追継承事業『馬と将門公 vol.2』
- 日 時：2025 年 12 月 10 日（水）18:00~20:00（17:30 開場）
- 会 場：神田明神文化交流館 EDOCCO 4 階「令和の間」

（東京都千代田区外神田 2-16-2）

- 形 式：会場参加 + オンライン配信（アーカイブ配信も検討中）
- 主 催：特定非営利活動法人 相馬救援隊
- 後 援：千代田区
- 企 画：WAzUP 中村哲事務所
- 運営協力：COERU、Yappe 株式会社 ほか
- 内 容（予定）：
 - オープニング（相馬野馬追と将門公について）
 - トークセッション「報徳仕法とこれからの地域づくり（仮）」

└ 登壇：北康利氏、永井紗耶子氏、相馬行胤ほか

- 質疑応答・交流タイム など

*** 団体概要 ***

特定非営利活動法人 相馬救援隊

- 所在地：福島県南相馬市原町区仲町一丁目 85 番地
- 代表理事：相馬 行胤
- 設立趣旨：東日本大震災を契機に相馬地域の復興支援を行うとともに、相馬野馬追をはじめとする地域の歴史・文化・暮らしを次世代につなぐ活動を展開。
馬と人が共に生きる文化の継承、相双地域の交流人口・関係人口拡大を目指す。

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 相馬救援隊

「馬と将門公」東京事務所

担当：中村 紺哲

E-mail：edoeco@icloud.com

TEL：090-3477-4137

イベント公式サイト：

<https://wazup.jp/kanda-myojin>